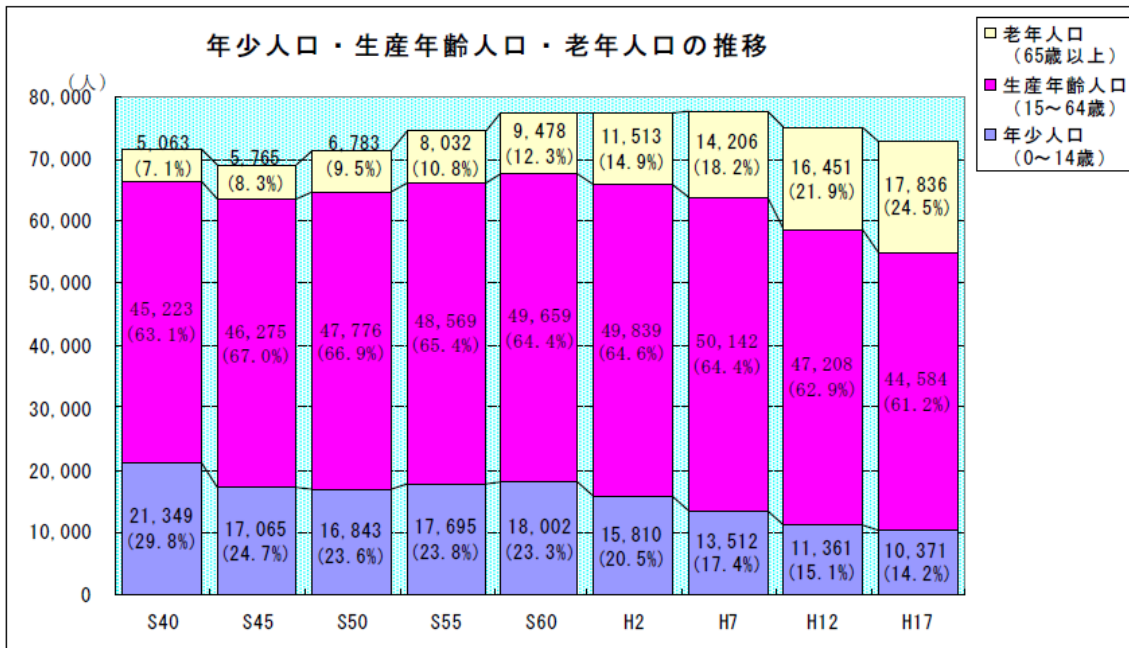


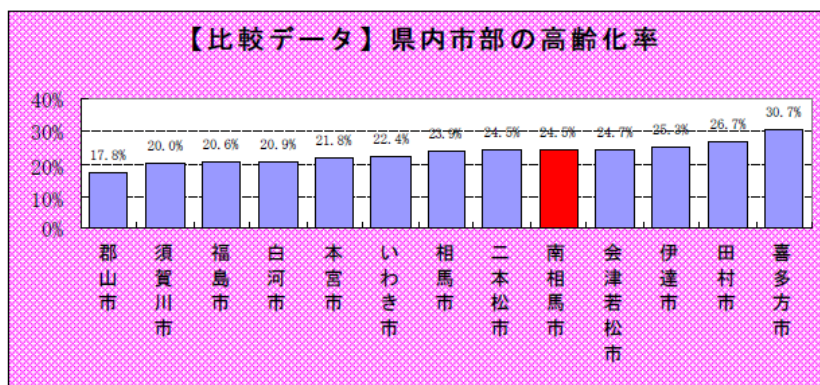
年齢別人口

年齢別の人口構成比では、年少人口と生産年齢人口ともに減少傾向にあり、今後もこの傾向が続くと予想されている。一方老年人口は平成7年に年少人口の割合を超え、平成17年の国勢調査においては、人口の24.5%となり、市民の4人に1人が65歳以上となっている。

同調査において、全国では老年人口が過去最高の2,560万人となり、総人口に占める割合（高齢化率）も20.04%と、初めて20%を超えた。南相馬市では平成12年にはすでに20%を超えていることから、全国平均よりも高齢化が進んでいることがわかる。



出典：国勢調査

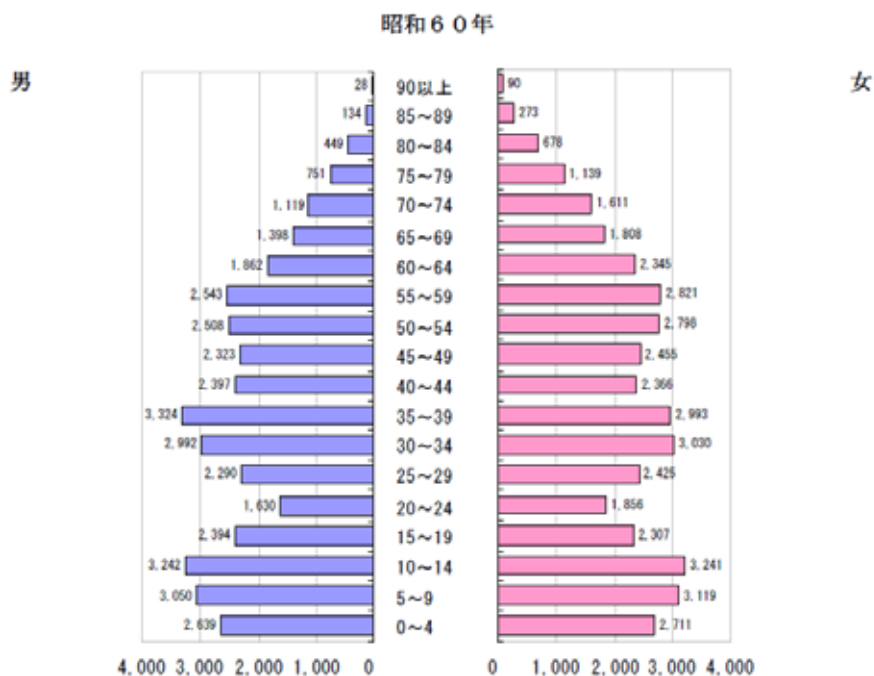


出典：国勢調査

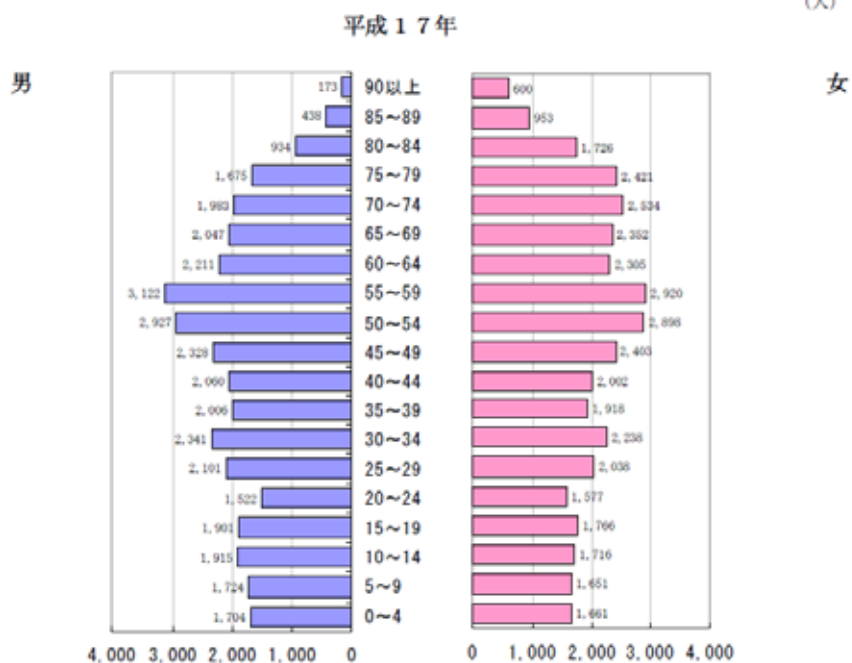
出典：南相馬市「まちDス2007」

年齢構造（5歳階級別）の推移

昭和60年と平成17年の年齢構造を比較すると、ピラミッド型の形状が崩れ、年少人口がますます減少していることが伺える。



(人)



(人)

出典：国勢調査

出典：南相馬市「まちDス2007」